

心通わす本との対話

今月は
東郷分館からの
おすすめ!!

児童書

春のオルガン

湯本 香樹実 作
(徳間書店)



昨日、小学校を卒業した。今日から春休み。でもなんだか私の頭はもやもや。隣の家との争いが原因で、家の中もぎくしゃく。そしてある日、家を出て古いバスの中で暮らすことにした。

木のうた

イエラ・マリ 作
(ほるぷ出版)

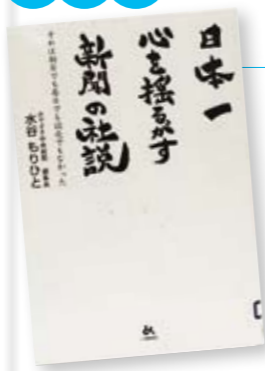


1本の木が織りなす四季を美しく描き上げた文字のない絵本。単なる知識絵本としてだけでなく美しい色調とデザインが、叙情をも育んでくれる。

一般書

日本一心を揺るがす新聞の社説

水谷 もりひと 著
(ごま書房新社)



それは、朝日でも毎日でも読売でもなく、口コミだけで全国から熱望される新聞である。読者数…1万人、感動で涙した人…1万人。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

喜多川 泰 著
(サンマーク出版)



1人の若者が旅を通じて、普通の人たちと出会い、その人たちの日常に触れながら、自分の日常を見直す機会を得る。そして、同時に「生きる力」についても学んでいく。

利用者の声 図書館のじいちゃん現る！

東郷分館に行き、何の目的もなく書庫を眺めていると、職員の方から「何かお探しですか」と声を掛けてもらいました。つい「孫に何か本を」と答え、「今年小学校に入學したからなあ」と独り言を言っている。「いい本がありますよ。それに下のお子さんにお薦めの本もありますよ」と丁寧に説明してくれました。しかし、利用者カードもないし、手続きも面倒だし決断を渋っていると、職員の方が分かりやすく手続きを教えてくれました。

それから、頻りに東郷分館に足を運び、新しい本を借りては孫に読み聞かせるようになり、孫たちにとっては、ただのじいちゃんではなく、図書館のじいちゃんになりました。

孫たちは、夜寝る時は必ず本を読みながら寝床につきます。テレビもゲームも一切しません。全ては心通わす本との対話で健康やかに育って来ています。

このように素晴らしい機会を与えてくれた東郷分館の職員の方に感謝しながら、孫たちとの本を通してふれあいを続けていきたいと思えます。



毎月23日は子どもと一緒に読書の日

- 問合せ先 —
- 中央図書館 ☎(22) 3542
 - 樋脇分館 ☎(38) 0009
 - 入来分館 ☎(44) 3111
 - 東郷分館 ☎(42) 0053
 - 祁答院分館 ☎(21) 8755
 - 里分館 ☎(3) 2958
 - 上飯分館 ☎(2) 0001
 - 下飯分館 ☎(7) 0311
 - 鹿島分館 ☎(4) 2211

郷土文芸誌「文化薩摩川内」第6号を発刊しました

郷土の文芸・文化の向上を図るため、本市の文化活動を紹介します。市民の皆さまから投稿いただいた俳句・短歌などの作品を掲載しています。

今年度は、鹿児島県の音楽界で顕著な功績を挙げている正岡憲一氏、甌島で献身的に伝統継承活動をしている小川三郎氏から特別寄稿をいただきました。ぜひ、ご覧ください。

【販売価格】11000円
*作品投稿者は5000円(1冊まで)
【販売・問合せ先】中央図書館

定期子ども映画会

【時】6月3日(金)15時30分から
【所】中央図書館3階研修室
【内容】子ども向け映画の上映
①くつやとこびと
②ミッキーマウスと魔法の帽子

【対象】小学生以下
【定員】先着30人
【入場料】無料
【問合せ先】視聴覚ライブラリー(中央図書館内) ☎(22) 3542

お知らせ



文化発表会



東日本大震災被災者へ向けた募金活動



アルミ缶マッチ(アルミ缶回収)



校内駅伝大会

川内中央中学校

創立30周年 校訓「自主 友愛 好学」

元気なあいさつと笑顔があふれる

本校は、市の中心地にあり、平佐保育園や、川内商工高等学校、鹿児島純心女子大学などがある学園都市の一角に位置しています。本年度で創立30周年を迎え、567人の生徒たちが「地域に信頼される中学生」を合言葉に、学習や運動に一生懸命取り組んでいます。

【小中一貫教育の推進】
「確かな学力と豊かな表現力をもった心豊かでたくましい児童生徒を育成する」を目標に、義務教育9年間を通して発達段階に応じたきめ細かな学習指導、生徒指導などに取り組み、3日間の体験入学や体験入部、学校を超えた交流授業や体験授業、児童・生徒の交流活動などが計画的に行われています。

【花プレゼント事業】
平成15年度から校区内の70歳以上の高齢者の方々がいらつしやる各家庭に夏咲き

【ボランティア活動】
本年度は「小さな親切運動」指定校となり、生徒会が中心に「アルミ缶マッチ(アルミ缶回収)」、「ゴミゼロカップ(登校中のゴミ拾い)」、「書き損じはがき回収」などに計画的に取り組んでいます。

また、今回の東日本大震災が発生した際には、生徒会が中心となり「募金活動」を行い、日本赤十字社を通して、被災された方々に十数万円の義援金を送ることができました。

これからも、元気なあいさつと笑顔があふれる魅力的な川内中央中学校を、生徒と教師が一体となって創り上げていきたいと考えています。



VOICE

川内中央中学校 校長 外 俊則

本年度は、創立30周年を迎え、一層飛躍の年となりそうです。具体的には、県・市が指定する「学力向上」や「小中一貫教育」の研究公開、「小さな親切運動」、「ボランティア活動」事業など、今後も皆さまの支援をいただきながら、「生徒・保護者・地域・教職員一体の「チーム力」で頑張ります。

